

## 資料 「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」より抜粋（72ページ）

収支計画の収支均衡に向けて以下の施策に取り組み、計画期間内に収支の改善を図ります。

▶ 保有資産の見直し等による財源の確保として、遊休資産の利活用や売却等に取り組みます。

▶ 民間活力の活用による業務委託の範囲拡大として、令和3年度からの民間事業者への水道検針業務に加え、営業業務の委託に向けて検討を進めます。

▶ 水道施設の再編成や投資効率の向上など、水道事業の安定した財政基盤に向けて、京都府水道事業広域的連携等推進協議会への参加等を通じて、京都府をはじめ府内の水道事業者と広域連携の取り組みを検討します。

▶ 今後の水道事業運営を見据え、上下水道部における組織の簡素化や統合など、効果的・効率的な組織再編に取り組みます。

▶ 施設管理の一括発注や公用車の更新時期の延伸などの経費削減に取り組むとともに、債券運用等の新たな収入の確保に取り組みます。

▶ 今後の投資計画において、水道施設の耐震化や再編成等に取り組むことを踏まえ、投資事業の新たな財源確保の観点から、国庫補助金の獲得に向けて取り組みます。

▶ 水道料金制度については、今後の水需要の減少等を踏まえ、口径別料金体系への移行や低所得者向け料金のあり方等とあわせ、適正な料金水準への料金改定に向けて検討を進めます。

▶ 企業債については、他団体との企業債残高等に関する指標の分析を行い、現世代と将来世代の負担を考慮しながら発行します。